

まちかどの元気印

日本共産党

市会議員



山田こうじです！

2020年6月28日

NO.238

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

新型コロナウイルス感染症に関する第5次申し入れ



京都市独自の対策を！

京都市へ第4次の補正予算の編成については、あらゆる分野での異次元の京都市独自の対策を求めました。全国では、上下水道料金の減免・免除する動きが広

日本共産党京都市会議員団は2月10日、第一次申し入れを行ったのを始め、その時々の、住民の皆さんや関係団体のご要望を京都市に届け改善を求めてきました。緊急事態宣言が解除されたとはいえ、新しい生活様式が求められ、第2派・第3派への備えも必要です。党議員団は、6月22日市に対して、成立した国の第2次補正予算による支援策の具体化を早急に求め、第5次の申し入れを行いました。

感染拡大に備えよ！

「行政改革」の名のもとに、各行政区にかつてあった保健所が一カ所に集約されたことが、感染症対策の大きな障害となっています。市民の命と健康を守るために、各行政区に保健所を戻すことが必要です。市立病院は、公的医療機関として感染症対策の中心的役割を果たすことが必要です。

「医療崩壊」を起こさないため、医療、介護、福祉施設への財政支援の強化を求めました。国民健康保険料、介護保

険料、後期高齢者医療保険料のコロナ特例減免及び独自減免の制度を周知し、区役所での申請がスムーズに行える体制を求めています。医療を受ける権利は平等であるべきです。国民健康保険の資格証明書は廃止し、すべての被保険者に正規の保険証を発行するべきです。

市民のいのちを守るために！

国民健康保険における傷病手当は自営業やフリーランスも対象にすべきです。コロナ禍での生活困窮者への支援について、生活保護を申請させない「水際作戦」が多くの自治体で見られます。

国の通知に基づき、必要とするすべての人に適用されるよう求めました。夏季歳末特別生活資金貸付事業を復活し通年化が必要です。違法な、非正規切り等を防ぐためにも、雇用に関わる相談窓口の創設を求めました。

第182回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも…
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。

7月11日(土) 午後1時半~3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)

主催 日本共産党市会議員 山田こうじ事務所

佐々木 義人 801-9379



国民平和大行進 引継ぎ集会！

6月21日、国民平和大行進、東京へ広島コープが京都入りし、滋賀県との引継ぎ集会が、山科駅前で行われました。コロナ感染拡大で、山科駅から京都市役所迄の行進はありませんでした。

三田ひろこです！

NO.232

父の日に、シドニーにいる、末の娘から電話がありました。

4月末から、少し体調を崩していました。

私の体調を心配しつつ、コロナ感染下では弱な日本社会を憂う電話でした。

「持続化給付金」「GOTOキャンペーン」の委託費を食い物にする、大手広告代理店。

自粛が要請され、仕事も収入も失い、給付される等の給付金が遅れ、廃業や職を失い、必死で生きること強いられる、経済大国日本。「シドニーには必死で生きること強いられる人はいないよ。日本は、ほんとに異常だと思う。お父さん、頑張つて！」

